

声出しによるバイオレーションについて(愛知ミニリーグ大会限定)

《概要》

・ミニリーグでは、通常のバスケットボール競技ルールに加え、新たに独自のルールを設ける。これはデフバスケットボール競技への理解を得ることを目的としたものである。

《定義》

- ・コート上(ベンチも含める)でプレーヤーが声を発したとき。
- ・アップから試合終了までの競技時間中に、コート上(ベンチも含める)でプレーヤーが声を発することを禁止する。

《罰則》

【オフェンスが声を出したとき】ルールの中で別途規定がある場合を除き、バックボードの裏側以外の場所で違反が起こった場所から最も近い位置で相手チームにスローインが与えられる。

【オフェンス・ディフェンス共通】あまりにも頻度が高い場合、チームの指導不足とみなし、審判の判断でヘッドコーチに対してテクニカルファールを適用することができる。

【ベンチから声が出たとき】ルールの中で別途規定がある場合を除き、1回目の違反は警告とし、2回目の違反はヘッドコーチのテクニカルファールとし、3回目の違反はヘッドコーチの強制退場が適用される。

《備考》

- 競技中のジャッジについて、審判に委ねるものとする。
- インターバルや、タイムアウトも声を発してはならない。
- チームメンバー、ヘッドコーチ、チーム関係者(アシスタントコーチ、マネージャー)も競技時間中に声を発することは禁止とする。※チームメンバーとは以下を指す。
- プレーをする資格があり、コート上にいるプレーヤー。
- プレーをする資格があり、コート上にいない交代要員。
- 5個のファウルを宣言され、プレーをする資格を失ったチームメンバー。

【補足】5個のファウルを宣言されてプレーをする資格を失ったチームメンバーは、以降のゲームに出場することはできないが、チームベンチに座ることは許される。

《その他》

- 観客席にいる人たちは声を発しても構わない。
- コートにいる全参加者、声を発してはならない。
- 参考資料のため、競技中の審判の様子を撮影、意見を集め、今後の参考とする。

声出しによるバイオレーション説明動画 ▼

